

普及現地情報

発信年月日:令和 8 年(2026年)9月7日

所 属 名:東近江農産普及課

番 号:D26006

発 信 者 名:西川、他野菜担当



枝豆色彩選別機の実演会を開催しました！

7月24日にJAグリーン近江管内で栽培されている黒枝豆において、出荷調整作業の効率化に向け、「近江黒ダイヤ」の集荷場で色彩選別機の実演会を開催し、実演会には、地域の生産者やJA等関係者17名が参加し、最新技術へ熱い視線が注がれました。

同 JA 管内では、大粒で甘みが強い特産黒枝豆「近江黒ダイヤ」のブランド化を推進し、約8.5ha で栽培されていますが、収穫後の選別作業は人手と時間がかかるため、省力化が大きな課題となっています。

この課題を解決すべく全国農業システム化研究会実証調査を活用し、実演会を開催しました。実演を行った色彩選別機は、上下 2 台の高性能カメラが搭載され、枝豆の両面を瞬時に判別して変色や傷のある不良莢をエアで正確にはじき出すことができました。また選別基準を自動設定する「オートチューニング機能」により、手作業に頼っていた選別が大幅に高速化される仕組みに参加者から驚きの声が上がりました。

JA の担当者は「作付面積が拡大する中、品質維持と省人化を図るために色彩選別機の導入も視野に入れていきたい。今後も良い枝豆を出荷し地域ブランドの競争力を高めていきたい」と展望を語られました。

今後も当課は生産者や JA と連携し、新技術の導入効果を検証しながら省力化と品質向上を進め、「近江黒ダイヤ」の産地発展につなげていきます。



色彩選別機実演会の様子



出荷される近江黒ダイヤ